

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

平成26年度後期4案件署名式報告

平成27年2月4日、当館にて平成26年度後期3案件の署名式が行われ、2月12日には後期1案件の署名式が行われました。

2日に分けて執り行われた署名式では、鎌田大使と各被供与団体代表者との間で、下記4案件の贈与契約書が署名されました。

2月4日合同署名式：

「ジャボル・ラスロフ行政郡グラカンドス地区地域病院泌尿器科医療機材整備計画」

「ペンジケント市女性センター建設計画」

「ジルガトル行政郡カショット地区カラソイ村及びカショット村灌漑設備改修計画」

2月12日署名式：

「ラシュト行政郡障がい児支援施設整備計画」

これらの案件を通し、首都ドゥシャンベから離れた過疎地域や地方都市において、公立病院泌尿器科への医療機材供与、女性支援を行う女性センター建設、農業用灌漑設備整備および障がい児支援施設整備が行われます。それぞれの案件は、違う角度からタジキスタンの人々の暮らしに貢献します。

これら4案件の署名を以って、現在までのタジキスタン国内における草の根・人間の安全保障無償資金協力支援案件数は、計341件となりました。

両署名式には、被供与団体代表者の他、各案件関係者も多数参席しました。式中、鎌田大使から本支援が長きに亘り二国間関係の発展に貢献している旨が述べられ、各被供与団体代表者からは、日本の支援に大きな感謝の意が示され、今後責任をもって案件実施に取り組む旨が述べられました。

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

平成26年度後期4案件署名式報告



2月4日の合同署名式に臨む各案件署名者および関係者。



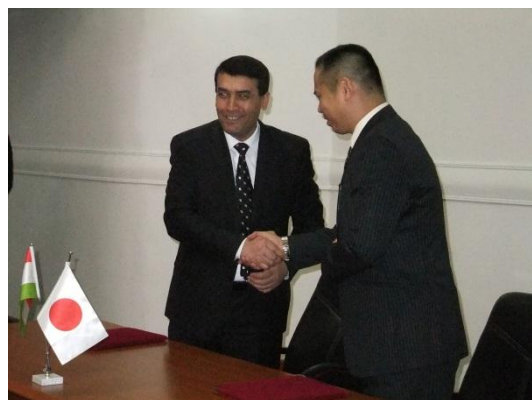
合同署名式冒頭、式辞を述べる鎌田大使。



2月4日の合同署名式の様子①



2月4日の合同署名式の様子②



2月12日の署名式にて、署名後握手を交わすラシュト行政郡長と鎌田大使。



2月12日の署名式終了後、署名者および関係者と並ぶ鎌田大使。